

16名の議員が聞いた！

一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり、政策提言も含めて市に考えを聞くものです。平成25年3月議会では、16名の議員が登壇しました。全質問項目は左記のとおりです。

8ページからの本文は、質問をした議員本人が要約して執筆しています。なお、一般質問の全文は、各図書館などに置いてある議事録や、インターネット（市議会ホームページ内の「会議録検索」）で閲覧することができます。



① 本多了一 議員 (日本共産党) P.8

1. 新庁舎での業務開始にあたって望むこと
2. 臨時職員の現状とそこにどう光をあてるか
3. 住宅リフォーム制度のさらなる拡充を
4. 非核平和都市宣言に関連して

③ 渡邊雄三 議員 (公明党) P.9

1. 市長の政治姿勢について
2. 通学路の安全安心について

⑤ 樋浦恵美 議員 (公明党) P.10

1. 発達障がい児に対する支援体制について
2. 男性介護者の現状と支援体制について

⑦ 大原伊一 議員 (旭日会) P.11

1. 燕警察署移転に伴う地域の要望について
2. 補助金・委託料の在り方について
3. 県央地区に1日も早い救命救急病院の設置を望む
4. 健康診査の在り方について
5. 25年産米の品質向上に向けた取り組みについて

⑨ 齋藤信行 議員 (大河の会) P.12

1. 米納津隕石について
2. 新観光協会の立ち上げと観光の推進について
3. 分水北部地区について

⑫ 中山真二 議員 (旭日会) P.13

1. 空き地と防災について
2. 土地利用と職員駐車場について

⑮ 阿部健二 議員 (無所属) P.15

1. 燕市の予算は市民のために正しく使われてきたか（これからの行政と市議会のあり方について）
2. 自転車にやさしくない燕市の道路行政について
3. 燕市国民健康保険税の安易な値上げについて

② 小林由明 議員 (旭日会) P.8

1. 産業施策について
2. 大人の学びについて
3. 市の景観形成について

④ 埴 豊 議員 (旭日会) P.9

1. 財政問題について
2. まちなか活性化事業について
3. 職員研修制度のこれからについて

⑥ 中島清一 議員 (旭日会) P.10

1. 市長の政治姿勢について
2. 平成25年度における老朽インフラの維持改修について
3. 太陽光発電「屋根貸し」事業について
4. 本市におけるいじめの実態と対策について

⑧ 大岩 勉 議員 (旭日会) P.11

1. 教育振興対策について
2. 防犯灯LED化やESCO（エスコ）事業について
3. 東京電力(株)との「安全協定」の締結について

⑩ 土田 昇 議員 (日本共産党) P.12

1. 柏崎・刈羽原発の今後の課題について
2. 県央基幹病院の課題について

⑬ 齋藤紀美江 議員 (旭日会) P.14

1. 市長の政治姿勢について
2. 職員研修について
3. 広報のありかたについて
4. 観光政策について
5. 防災計画について

⑯ 長井由喜雄 議員 (日本共産党) P.15

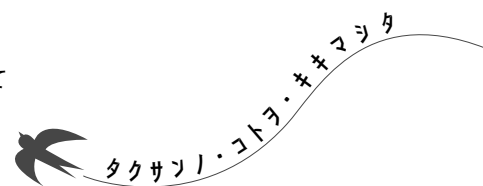
1. 国民健康保険について
2. 中学校の部活動支援について
3. 子ども医療費助成の拡充について

⑪ 山崎雅男 議員 (旭日会) P.13

1. 定員適正管理計画について
2. 旧保養所「たのうら燕」について
3. 通学路の交通安全の確保について
4. 教育問題について

⑭ タナカ・キン 議員 (無所属) P.14

1. 燕市に対する損害賠償請求事件について
2. 観光施策について
3. 文化会館の有効活用について
4. てまりの湯へのアクセスについて



ひとくちメモ… 一般質問の人数に制限はありません。1人当たりの質問時間は30分以内です。質問を行う議員は、事前に「こんな質問をします」という通告を書面で行います。本会議における質問の順番は受け付け順となっています。

職員は、全力を挙げて 市民サービスを！

問 5月には新庁舎での仕事が始まることになるが、私は市役所の職員が、新たな気持ちで公務員精神を発揮し、市民サービスに当たることを願っている。

すべての職員は憲法等で全体の奉仕者として公共利益のために勤務し、かつ職務の遂行に当たっては全力を挙げてこれに専念することが義務づけられており、次の宣誓をしている。「私はここに、主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、かつ擁護することをかたく誓う。私は地方自治の本旨を体するとともに、公務を民主的かつ能率的に運営すべき責務を深く自覚し、全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を遂行することをかたく誓う。」

答 議員ご指摘のとおり、地方公務員は全体の奉仕者として公共の利益のために全力で職務に専念することが義務づけられている。新たに採用される職員も服務の宣誓を行っている。この精神は、公務員の倫理的自覚を促すことを目的としており、服務の根本基準であると認識している。



5月7日から新庁舎での業務が始まりました

新庁舎移転を機に、改めて職員の意識を促すようにというご指摘であるが、まったく同感で、施政方針の中で述べたように今年の4つの重点テーマの一つに掲げている。



本多了一 議員(日本共産党)

国道116号バイパス早期着工を！

問 都市計画の観点から、国道116号バイパスは必要な道路であると強く感じている。3年半前の民主党政権は、「コンクリートから人へ」の政権公約によって、進み始めていた構想もとまっていた。3・11東日本大震災以降、バイパスの概念も大きく変わり、災害時には避難・物資の輸送道として、まさに命を守る道として不可欠である。市長はこれまでも、バイパス推進に尽力してきた。現在は政権も交代し、減災・防災の観点からどのような手法でバイパス着工への道筋をつけていくのか。



116号バイパスの渋滞

答 ご指摘のとおり、本当に3年半にわたり止まったままの時計の針をどのように動かすか、水面下で相当動いてきた。命の道路・避難道路等を強力に訴えていく中で、止まった時計の針を動かすことに全力で取り組んでまいりました。

問 昨年、児童が犠牲になる重大事故が多発し、この事故を受けて通学路の安全点検を実施した結果、100を超える危険箇所が確認されたが、どのように改善されたのか。

答 市教育委員会・警察・生活環境課と合同で約100カ所、すべての現場を確認し、協議を重ねて対応してきた。現在は約8割程度の対策を講じている。残りの2割については、信号機や横断歩道の新設であり、引き続き検討していく。



渡邊雄三 議員(公明党)

生涯にわたる積極的な学びの姿勢を！

問 みんなが望む理想の社会と自己の実現のためには、生涯にわたる積極的に勉強していくことが必要であり、社会教育や生涯学習の取り組みは、極めて重要な役割を果たすものと考えている。社会教育や生涯学習などに対する考えや取り組みを伺いたい。

答 生涯にわたる学ぶ姿勢は大切なことである。市民の皆さんの学習ニーズに対応しながら、市民の皆さんが主体的に地域の課題を把握し、その解決に向け、自ら学び実践するというような生涯学習社会を構築していきたいと考えている。



小林由明 議員(旭日会)



燕図書館

問 読書の重要性を認識していると思うが、大人の読書推進についての取り組みを伺いたい。

答 平成25年度から図書館の開館時間等を、平日は午後8時まで延長し、毎月第2月曜日と第3木曜日も開館することにした。また、子育て支援や医療情報など、市民の皆さんの課題解決に役立つ資料収集やレファレンスに注力することにより、図書館に興味を持ってもらい、読書活動につながりたいと考えている。

天神講でさらなる まちおこしを！

問 市長就任当時より、天神講に光を当て、市民の間でも昔を思い出したように、2月中旬には、金果糖の天神様や鯛をかたどった落雁などが燕の菓子店の店先を賑わせている。また、長らく天神講の菓子づくりを休止していた菓子店が製造を再開するなど、天神講が市民の間に再認識されているのが現状であり、商店街の活性化とあわせて市民参加型の事業として取り組むべきと考えるが、当局の見解は。

答 この燕市の伝統的風習に光を当て、情報発信に取り組み、毎年盛り上がりを取り組んできた。行



埴 豊 議員(旭日会)

政が先頭に立って、天神講を燕の2月の風物詩として根づかせ、商店街の活性化・燕市全体の情報発信に結びつけたい。

問 昨年の八王寺佐渡線開通以来、通称中央通りの渋滞が顕著となっているが、燕駅前通りは閑散とした状況である。車と歩行者の少ない地域に活性化の期待は低い。燕駅前通りは宮町商店街へと続く重要な道路であり、穀町の交互通行とあわせて早急な対応が必要である。

答 交通安全や駐車場対策など、地元住民、地元商店街の賛同が不可欠であり、警察・公安委員会などと協議しながら検討したい。



教育・福祉への支援体制について

問 発達障がい児に対する支援の取り組みについて、就学後の引き継ぎや理解を深めるための研修などは行っているのか。今後の課題としてどう認識されているのか。

答 引き継ぎについては、保育園・幼稚園の先生が学校での授業を参観するなど、よりよい指導支援に努めている。教育委員会では、「特別な支援を要する児童生徒への関わり方」というテーマ等で研修会や講演会を開き、関係職員の研修を深めてきた。

個別に支援を要する児童生徒がよりよく学んでいけるよう、関係職員の指導力・支援力を一層高めていくために、研修の充実、就学前からの切れ目のない支援を確実に



にしていくこと、相談体制・サポート体制の周知を図り、正しい認識が広まるよう努めていく。

問 男性介護者の現状について、支援は行っているのか。今後どのような支援が必要であるのか。

答 男性介護者は今後増えていくものと予想しており、介護の技術を学ぶ機会や精神的なリフレッシュ対策、参加しやすい時間帯等の環境づくりなどが課題であると認識している。新年度から夜間や休日の開催も予定しており、支援についてはあえてメニュー化するのではなく、参加者からの声を聞きながら、ニーズに沿った事業を実施していきたい。



樋浦恵美 議員 (公明党)

今後の諸課題について

問 燕警察署移転に伴い、近隣住民から犯罪増加を心配する声があるが、対応策は。

答 燕駅前交番と警察の充実をしていく。緊急出動態勢も整備し、十分な対応をしていく。警察協議会にて地域の声を十分届けた

問 補助金委託料について、まちづくり協議会補助金の住民1人当たりの額に差があり過ぎるのではないか。見直しの必要性について伺う。

答 24年度では、1人当たり最大671円、最小145円となっているが、規模に左右さ

れない基礎運営費が必要であることから、均等割と世帯割基準で配分している。



問 早急に救命救急病院の設置を望むが、合同会議の内容と今後の日程について伺う。

答 今後は、県央基幹病院基本構想策定委員会で機能・規模・既存病院との役割分担と運営形態が25年度中を目的に作成される。

問 医療費抑制には、検診の受診率向上による早期発見・早期治療が必要である。受診率向上のために、市内医療機関で受診できる体制づくりが必要ではないか。

答 検診については、どこの会場でも受診できることや土曜日にも受診できる等、受診しやすい環境づくりを行っている。現在、75歳以上の方が医療機関で受診できるように検討している。



大原伊一 議員 (旭日会)

道路や橋梁の維持修繕計画は

問 平成25年度予算に盛り込んだ、市長の目玉政策について伺う。

答 新年度の重点事業として、これまで取り組んできた産業の活性化や教育・子育て環境の充実など、さらに磨きをかけたい。特に25年度としては、若い世代や子どもたちの視点から将来を見据えた新しい事業に取り組む、新たな飛躍に向けた予算を編成した。

具体的には、子どもたちの英語教育、喫緊の課題である空き家への対応、排水対策、病児・病後児保育の施設併設型の体制整備などに力を入れて予算配分した。

問 道路や橋など、老朽インフラの維持改修について、本年度の計画は。



中島清一 議員 (旭日会)

答 老朽橋対策については、平成24年度末で橋梁長寿命化修繕計画策定を終了し、平成25年度は吉田駅人道橋の改修工事、西楨地内の東西橋及び中ノ口川にかかる中央橋の修繕に向けた詳細設計を予定している。

また、舗装や側溝修繕など、通常の維持管理に加えて、幹線道路の舗装や擁壁・大型案内標識・道路照明など、国の平成24年度補正予算の事業を活用して点検業務を実施したい。今後とも、修繕事業に係る費用の平準化を図る必要があることから、必要な財源を確保し、計画的かつ適正な修繕工事を実施していきたい。



幹線道路舗装工事

宇宙からの贈り物、米納津隕石!!

問 燕市教員研修視察「ときめきスクール」の具体的成果は。

答 燕市の教育、自校の教育、自己の指導に取り入れているのか。先進校といわれている学校の指導法を学び、自らの指導や自校の活性化や授業改善に役立てており、大きな成果を上げている。

問 宇宙からの贈り物である米納津隕石について、児童や生徒に授業などで指導しているのか。観光事業として施策展開をし、積極的なPR推進をされたらどうか。

答 長善館史料館や隕石落下地を訪れ、学んでいる。今年度、国立科学博物館から米納津隕石里帰りイベントを計画し、観光にもつなげたいと思う。

問 リサイクル活動で、不要になった洋服を寄贈する活動に児童や生徒を参加させたらどうか。

答 資源のリサイクル活動には取り組んでいる。洋服寄贈活動にも参加しようと思う。

問 防犯灯LED化、ESCO事業について聞く。

答 防犯灯をLED化することで光熱費は2分の1、修繕費はESCO事業者の責任管理で、すべて削減することができる。事業終了後は、年間2000万円以上の削減効果と考えている。

問 東京電力(株)と安全協定の締結が必要について聞く。

答 原発の安全性について意見を述べ、報告を受ける関係を構築する目的で締結した。



大岩 勉 議員 (旭日会)



米納津隕石落下地記念碑



山崎雅男 議員(旭日会)

市民ニーズに対応した行政運営を!

問 職員構成で20歳〜30歳までが64.4名中99名で全体の15.4%、48歳〜60歳までが29.5名で全体の45.9%で、若年層が極めて少ない構成である。地方分権がより一層進めば、市民ニーズの高度化・多様化等、当然行政需要事務量が增大する。職員の専門性、企画立案等に能力が求められる中、どのような組織機構で市政運営を図るのか。

答 職員の高齢化が進み、逆ピラミッド型の年齢構成であり、定員適正化計画との整合性を図り、適正な職員採用を実施したい。職場



研修の充実、国・県との人事交流等を行い、職員の人材育成やスキル向上も大切で、総合的観点から定員適正化に取り組みたい。

問 吉田南小学校区内で、西太田跨線橋下から親水公園わきまでの歩道が狭く危険性が高い。P.T.A.西太田地区親子会等から要望書が提出されたが、子どもたちが安全・安心に通学できるよう早急に対応すべきである。

粟生津地域の中学生は、自転車で下粟生津地内越後線沿いの道路を通り、途中線路を横断して西太田に向かう狭い道路を通る。通勤時間帯と重なり、危険な状態であり、道路拡幅整備を行い、安全な通学路にすべきではないか。

答 西太田地内は当面、視線誘導標を増設して対応。下粟生津地内は、現場を確認して対応させていきたい。



新庁舎の職員駐車場

問 1月21日未明に発生した燕市南4丁目の火災において、密集地における空き地が火災の広がりを防止する意味で非常に効果があった。空き地に関しては、取り壊すと土地に対する固定資産税の6分の1の減免措置がなくなる。防災や老朽化した空き家の取り壊しを促進する意味でも、取り壊しに対する助成金や、密集地の空き家取り壊し後の更地について固定資産税減免措置はできないか。

答 定住促進を含め、空き地・空き家の適正管理条例を制定し、実



中山真二 議員(旭日会)

新庁舎における職員の駐車料金について

問 新庁舎になったことで歩いて通勤できなくなった職員の交通手段、駐車料金はどうなっているのか。また職員から徴収する予定の700万円の駐車料金は、基金または特別会計にして可視化してはどうか。旧庁舎における駐車場としての借地の扱いは。

答 主に自動車通勤になると思われる。今まで自動車通勤の職員全員から月5000円ずつ徴収していたが、用地取得費や整備費を考慮し、2倍の10000円を徴収する。駐車料金は一般会計の歳入で処理したい。賃借料は年250万円を払っていたが解約する。

米納津隕石でまちおこし

問 つばめっ子かるたに、⑤で「米納津の隕石天からの贈り物」とあり、市では隕石落下地としてまちおこしに活用する方向性などあるか。また、学校ではどのような取り組みをしているのか。

答 長善館史料館をより積極的にPRし、今年度は国立科学博物館からの米納津隕石里帰りイベントを計画。また、学校ではこのたびのロシアでの隕石落下に関する子どもたちの驚きの声を生かして、授業などで隕石に関する科学的な見方や知識に触れるなど、子どもたちに宇宙について、より一層関心を持たせようと試みたとの話も聞いている。イベント内容については、日本宇宙少年団吉田宇宙芸



10月中旬開催



齋藤信行 議員(大河の会)

問 この春のおいらん道中、また秋の酒呑童子行列は、新観光協会になってどうかかわり、どう変わるか。

答 新観光協会では、全市的な観光業務や観光情報の発信に力を入れ、イベントの改善等にも取り組む。分水おいらん道中は、道中の順番を変えて、ともに地藏堂本町を歩き、その後、大津津分水桜並木を歩くようにした。また、「つばめるしえ」を2カ所で開催。秋の酒呑童子行列は、市民の方々の意見を取り入れ、全市的な取り組みにした。

県央基幹病院整備の再編案まとまる



土田 昇 議員(日本共産党)

問 基幹病院は500床規模で、医師の数が80名と報道された。問題は医師不足で、県と市は今後どのような対応するのか伺う。

答 県央基幹病院は、地域救命救急センター、地域周産期母子医療センター的機能、がん診療連携拠点病院機能などを整備する予定になっている。統合再編となっている燕労災病院と厚生連三条総合病院の2つの病院の診療機能が統合され、医師も基幹病院に移行することにより、一定程度の医師が確保されることになるが、80人程度の医師の確保をするためには、さらに30人程度の医師が基幹病院には必要になってくる。県央地域は、勤務医の



老朽化した「県立吉田病院」

問 県立吉田病院の整備・充実を求めていくべきだと思いがいかがか。

答 県立吉田病院は、地元が必要とする「住民に身近な医療を提供する重要な病院である」と合同会議でもその認識が示された。

議会事務局長の市長任命について



阿部健二 議員(無所属)

問 地方自治法に定められている現在の自治体の運営方法は二元代表制で、法的には首長と議会には対等の権限が付与されており、執行機関と議会が互いに案を出し合い、よりよい制度や案をつくり上げることが想定されている。

しかし、多くの自治体では首長と議会が一体化して緊張感がない状況にあり、首長は式典出席に追われ、議会は役所組織が立案した策を形式的に議決するのみで、二元代表制を担う機能を十分果たしていることにはならない。

まずは、地方自治法

答 議会事務局などの市長部局以外の職員の任命については、任命権者協議を得て議会議長など、各行政任命権者が発令しているもので、地方自治法に抵触していることはない。



新庁舎の新議場

によって付与されている議会の機能を最大限活用することから始めようと、議会事務局の専任職員を複数の自治体で共同採用することや、事務局長に外部の人材を登用するなど、議会事務局の知的インフラ整備が必要だという地方議会改革への提案が多い中、今まで慣例とされてきた燕市議会事務局長などの任免を燕市長が行うことは、地方自治法138条の5「事務局長、書記長、その他の職員は議長がこれを任命する」ことに抵触しないか。



ミチカナ・モンドイヲ・ギインガ・キキマス

県内の法定外繰入状況(20市中)

2011年の保健事業以外

市名	金額
新潟市	130,000万円
長岡市	16,400万円
上越市	30,000万円
三条市	8,600万円
妙高市	5,500万円
阿賀野市	30,000万円
十日町市	5,000万円
胎内市	772万円

国保税の引き上げでなく、一般会計繰り入れを

問 市の引き上げ案は所得200万円、40代夫婦と子ども2人世帯で30万8000円から40万1000円と9万3000円もの引き上げとなる。国民健康保険は国民皆保険制度の最終受け皿であり、退職すれば国保、失業すれば国保と、他の保険に加入していない人全員が国保加入となる。

国の調査でも世帯主の無職者が40・8%、臨時・パート社員などが35・3%となっており、世帯主が現役で就労する共済や協会けんぽとは違う。燕市国保は所得ゼロ円世帯が3010世帯で、200万円までが約8割となっている。開業医実態調査では「経済的理由での治療中断」が57・2%で、2



長井由喜雄 議員(日本共産党)

010年より18・5%も上回る。負担が増えると医療を控え、健康悪化となるのが国保の抱える現実だ。2012年度、県内で12市町が加入世帯の負担軽減のため、保健事業以外の一般会計繰り入れを行い、阿賀野市は3億円、1人当たり2万3000円を繰り入れていた。一般会計から繰り入れて国保会計を支えることは自治体として何ら矛盾することではない。

また、繰り入れを「二種の麻薬」と表現した市長の真意は、

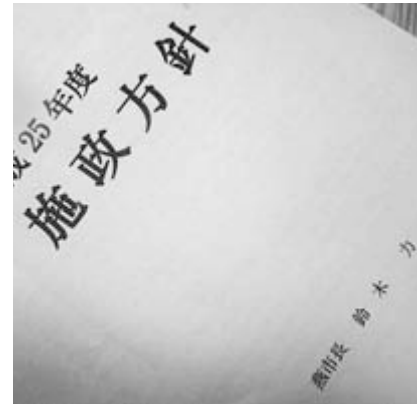
答 市民に非常に負担をかけることは心苦しいが、他の保険とのバランス、特別会計の制度趣旨から繰り入れは行うべきではないと考えている。意味は「一度始めたらやめられなくなる」ということだ。

市長の政治姿勢について 一番「心」してきたことは何か



齋藤紀美江 議員(旭日会)

問 市長の任期も最後の年度を迎える。この3年間、公約実現に向けて取り組んでこられたことと思うが、自己評価はどうか。市政運営で一番「心」してきたことは何か。また、市長は教育についての一般質問に答弁していないが、公約や施政方針には教育や子育てもあり、市長の責任において答弁すべきものもあるのではないか。教育委員会が、政治的中立性を確保するために市長部局から独立した機関であることや、その権限については承知をしているが、予算の伴うものは市長部局に権限がある。文部科学省の「教育委員会



答 産業の活性化なくして地域の活性化はないと、産業振興に加え教育などをテーマに掲げ、日本一輝くまちを目指して全力投球し、燕のいいイメージが伝わるよう情報発信に心がけてきた。評価は市民や議会がするもの。教育に関することは教育委員会の所管であり、教育委員会の事務局が答弁をする。教育の問題での私の考えは施政方針演説で述べているので、それをよく読み返してほしい。

フタが外されていたための転落事故



タナカ・キン 議員(無所属)

問 平成22年1月26日朝、吉田日之出町地内の市道に沿った排水路に転落して、市道にはい上がったが凍死に至った女性の遺族が、「排水路に設置されているはずの金属製のフタが外されていたため死亡事故につながった」として、排水路の所有・管理主体である燕市や、占有許可を得ていた事業者などに対して損害賠償請求を起こした。



フタがされている状態の排水路

答 ①この事故後に議員になった人や当時のことについてよくわからない議員もいる。しかし、内容についての説明もなく、議員の質問を受けようとしない姿勢は、議会軽視ではないだろうか。

②ただの凍死ではないという事実を市はいつ知ったのか。

③管理者である市は、遺族の方に対し謝罪はされたか。

④今までに遺族の方との話し合いはされてきたのか。

⑤占有許可先の事業者に対し、どんな指導を行っていたか。

⑥フタが設置されていないことに危険を感じていなかったか。

⑦市民から訴訟を起こされたことに対し、市長はどう感じているか。

答 ①⑥について、裁判における審理が始まっていることから、発言は控えさせていただきます。⑦について、本件は私の就任前に発生した事案に係るものだが、いづれにしても市としては司法場において適切に対応していきたいと考えている。